

2016年(平成28年)11月6日(日)

毎 日 新 聞

オピニオン opinion

決断力養わぬ日本の教育

元小学校長 桑原 玄治73 (長崎市)

東日本大震災の津波で児童、教職員計84人が犠牲となった宮城県石巻市立大川小の訴訟。私の海外日本人学校での8年間の体験を通じて、これは日本の教育の根幹に関わることを内包していると感じました。ドイツでもアメリカでも先生方は、学校長や役所の指示・指導よりも自分ならどうするか、自分ならこうしたいという意思表示を堂々としていました。日本では上司の指示が絶対であり、自己を表現するすが取り取られている感があります。

大津波が来ていることを知らせる警報が出て校庭に避難しながら、なぜ50分近くも動けなかったのでしょうか。市の広報車も高台への避難を呼びかけていたのに。いずれにしろ、とっさの時にどう判断していいのかの決断力の不足。一人では決めきれない教育のツケが出た結果の犠牲者だと、私は捉えています……。

前例のない事件や事故の時、どう行動すればいいのか。それは「自立できる人間を育てる」教育の改革にかかっていると考えます。